

一年間の活動を振り返って

桜の便りとともに、2013年度も終わろうとしています。毎年、新しい活動の創造があり、各学校でも効果の少ない活動を見直し、新企画に取り組んだことと思います。特に、今年度は学力向上のために企画を立ち上げた学校が多く見られました。

学校支援センターでは、2013年度、二つの目標を掲げて活動してきました。一つは生涯学習部との連携であり、いま一つは小中学校が連携した取組を強化するため、中学校区でのVCミーティングを開催することです。

生涯学習部との連携では、「生涯学習センター」でのイベントに、各校のVCに参加していただきました。また、文化財係と連携してサマースクールで地域から出土した土器を見本に土器作りをする講座の開設、町田市民文学館「ことばらんど」の方に郷土の詩人である八木重吉のお話をしていただき、学習発表会の出しものにまで発展したり、サマースクール等で太筆習字や紙芝居をやっていただいたりすることができました。

小中学校が連携した中学校区でのミーティングは、中学校区ごとの実態もあり、1～3回くらい開催されました。主な内容は、職場体験先確保、学力向上への取組です。これについてはまだまだ十分とはいえず、引き続き来年度も取組んでいきたいと思っています。4月から、また新たな気持ちで、つながりを更に強めてともにがんばりましょう。

小学校第一地区校長・VC合同ミーティング



3月13日の午後3時30分より、市役所10階の会議室にて、小学校第一地区の校長・VCの合同ミーティングが行われました。校長とVCが一堂に会して情報交換を行うことは他地区ではあまり例がありませんが、小学校第一地区ではこれまでも毎年一回程度は行ってきました。今回は市役所で実施するということでしたので、学校支援センターからも2名同席させていただくことにしました。年度末のご多用にもかかわらず、多数の校長とVCが出席して、各校の活動報告が行われました。第一地区校

長会の今年度の研究はVC活動と直結しており、ミーティングでの意見交換はたいへん活発なものとなりました。

センターサークルバナーペアラー始まる

【薬師中学校サッカー部・・・4500人の観衆の前で・・・】

2月の「支援 59号」でもお願いした、FC町田ゼルビアホームゲームで、円形の大きな旗を持って入場するイベントに、薬師中学校と町田第一中学校が出場してくれました。薬師中は、3月9日（日）でJ3のオープニングゲームということもあり、4500人を越える観衆の前でのパフォーマンスとなりました。

こんなにたくさんの人の前でパフォーマンスを行う経験はそうそうありません。きっと、今年度最後の良い思い出になったことでしょう。3人の顧問の先生、VCさん、ありがとうございました。



【町田第一中学校サッカー部・・・強い風に耐えて・・・】

今回の企画を受けたVCからの働きかけに、いち早く参加の連絡をいただいたのが、町田第一中学校サッカー部です。

3月16日（日）の第2戦に、登場してくれました。観客は3400人ほど。試合中はスタンド席から観戦しました。当日は南風が強く、大変そうでした。

終わった後の生徒に聞いたら、「野津田の芝生の上に立ててうれしかった」「風が強くて円形に広げ続けるのが大変だった」という感想を聞くことができました。二人の顧問の先生から「プロの選手が真剣にプレーするのだから、君たちも真剣にきびきびやるように」というお話がありました。ありがとうございました。

この企画は今後も続きます。サッカー部でなくとも、ほかの部活でも、学級単位でもできるそうです。中学校の先生方は、様々な企画でこのイベントを使ってほしいと思います。



寄稿コーナー

相原小学校 放課後学習教室「いろは」

相原小 VC 中島真由美・横溝一枝

平成 22 年度、学校から「毎週水曜日の放課後に地域協力者と学習教室を開くことができないだろうか？」と相談されました。さっそく健全育成地区委員会に相談したところ、資金的な協力をしていただけることになりました。次に、地域のお年寄りと協働した



活動にしたいという希望を持っていましたので、地域の老人会会長に学校放課後活動の趣旨を相談しました。そこでわかったことは、高齢者が研修を受けて「いきいきポイント制度」に登録すると、対象となる活動に応じて「いきいきポイント」が加算されるということでした。ポイントは商品券等に交換できるため、地域のお年寄りにとっても目標がうまれました。

このような準備を進め、平成 23 年度には放課後学習教室「いろは」を発足させることができました。3・4 年生対象の活動で、宿題・音読・「いろは」の自作プリントなどを使った学習を自主的に行うことが基本的な内容です。それらが終われば、寄贈の本を読んだり、将棋をしたり、折り紙をしたりして、およそ 3 時間を過ごします。参加カードを作成したり、宿題やプリントの枚数によってシールが貰えるようにしたりして、児童の参加意欲をうながすようにしました。

開設当初は 10 名足らずだった参加児童も、最近は 40 名を超える状況が続くようになり、学校内でも「いろは」の存在が浸透していると実感しています。「相原まちづくり協議会」の広報で募集をよびかけていただいたおかげで、「いろは」スタッフも少しずつ増えています。スタッフ同士もコミュニケーションをとりあい、指導方法を教えあったり、学校協力者情報などを交換しあったりして、新たなネットワークができつつあります。

参加する児童は、地域の方々の励ましや見守りのなかで、たくさんのことを学びます。時には叱られる児童もいますが、理由があつてのことですから児童も納得です。人生経験豊富なお年寄りは知恵にあふれています。学習する姿勢やいろいろな相談、保護者には言えないが聞いて欲しいことなど、何でも対応していただき、たいへん有意義な異年齢交流の場となっています。

私たち VC が嬉しく思うことは、地域で保護者と一緒に出会った時など、「いろは」であつたできごとを嬉しそうに話してくださることです。また、宿題だけではなく日々のできごとなどを聞いてもらい、「また来週来るね！さようなら！」とあいさつをして、手を振りながら笑顔で帰る時なども嬉しいひとときです。

右の画像：毎学期の最終日にはクラフトを行っています。協力者がクラフトの作り方を真剣に覚えているところです。毎回学校へ来てくださる地域の方々には、心から感謝しています。



事務連絡

【来年度の学校支援センター行事日程】

- ・学校支援 VC 説明会
日時：2014年 4月16日（水）午前を予定
会場：市役所3階
対象：全ボランティアコーディネーター
- ・学校支援連絡会
日時：2014年 6月下旬から7月上旬に予定
会場：未定
対象：全学校支援連絡委員
- ・学校支援ボランティア感謝状贈呈式
日程：2015年 1月27日（火）午後を予定
会場：市役所3階
対象：感謝状の受領者と関係ボランティアコーディネーターほか

【学生ボランティア募集のために】

授業中や放課後学習の指導補助者として学生ボランティアをさがしてほしいという声が年々高まってきています。当センターではそうしたニーズを汲んで、3月中に市内や本市に隣接する大学に宛て、学生ボランティア募集案内を送りました。案内を送付した大学は、玉川大、桜美林大、法政大、国士舘大、帝京大、明星大、成城大、昭和女子大などです。応募者があり次第、当センターの人材データベースに登録していく予定です。（ほかにも各学校では学生ボランティアとして活動実績のある大学があるかもしれません。要望があれば、上掲の大学以外にも案内を送付しますので連絡してください）

次に、小中学校が学生ボランティアをさがし始める時期は、毎年集中します。校内における学生ボランティアの必要人数を担当教員やVCを通して早めにリサーチできると迅速な募集につながります。こうした点を考慮され、優秀な人材が確保できることを望んでいます。

【桜美林大学こどもサイエンス教室のご案内】

開催日時：2014年 3月29日（土） 10:00～16:00

場所：桜美林大学 町田キャンパス 理化学館

対象：小学生・保護者・小学校教員

参加費：申込不要、参加費無料

主催：桜美林大学

後援：町田市

本件情報は、タウンニュース町田版3/20（木）号に掲載されています。